

あたりまえの日常に感謝を ～『ありがとう』を使おう～

池江選手の力

2020年の東京オリンピックまで、1年3ヶ月余りとなりました。オリンピックといえ、2月12日、水泳で大活躍していた池江璃花子さんが、自信のTwitterで白血病と診断されたことを公表されました。このニュースは、瞬く間に日本はもとより世界中を駆け巡り、多くの人が衝撃を受けました。そのTwitterには、自身が一番戸惑い不安で仕方がないにもかかわらず、病気に負けまいとする強い意志だけでなく、同じように病気と闘っている人々、そして、今まで自分を応援してくださった人々への感謝の気持ちや、周りの人々への心遣いが込められていました。病気の人が勇気や希望を与えられただけでなく、健康な人もまた生きる意味を考えさせられる機会となりました。その後の水泳大会・スポーツ大会では、池江選手への激励メッセージを書くコーナーが設けられたり、骨髄バンクに登録する人が増えたり

感謝の気持ち

したとの報道がなされました。

池江選手と同級生の今井選手II岐県出身IIは、電話で直接池江選手から、白血病の報告を受けました。「その時は、病気が分かわらず、何を言っただけであらういいのかわからなくて、自分が言った言葉も覚えていない。」ということでした。このような時は誰でも、今井選手と同じように、どうしていいのか分からなくなると思います。その後今井選手は、「水泳ができることに、改めて感謝しなければならぬ」と思った。自分も池江選手のように、人に勇気を与えなければならぬ。」と語っています。

私たちも、病気から逃げずに立ち向かっている池江選手や、元気で泳ぐ事ができることに感謝する今井選手から学びたいものです。

ありがとうの言葉

今の自分の置かれている状況に感謝したり、皆さんのおかげ

で今があると思ったりする心が生まれると、やる気や元気ができてきます。また、心の持ちよう一つで、考え方や生き方が大きく変わると言われています。当たり前前の日常に感謝し、感謝の気持ちを表す身近な言葉「ありがとう」をたくさん使ってみると、すがすがしい気持ちになり、嫌な気持ちが吹っ飛びます。町民一人一人が「ありがとう」の言

葉を使うことによって、養老町民の『愛の輪がさらに広がる』（町民憲章から）ことにつながればと思います。

研修会への参加を

今年度も町では、左記のように人権教育研修会を開催します。ぜひ、お誘い合わせのうえ、会場にお越しください。

人権教育研修会

日時：5月14日(火) 無料
18時 開場
18時30分 開演

場所：町民会館

講師：おおまえ こういち 大前 光市 さん
下呂市出身：プロダンサー



大阪芸術大学でクラシックバレエを学ぶ。卒業後、プロダンサーとしてスタートを切った24歳の時、交通事故で左膝下を切断。片足でも踊り続けるために、ヨガや武道、新体操など幅広いジャンルの動きを学ぶ。作品に合わせた長短さまざまな義足を使い工夫することで、世界にふたつとないダンススタイルを築く。パラスポーツの世界選手権でも銀メダルを獲得。

平成29年NHK紅白歌合戦にて、平井堅さんの歌「ノンフィクション」をダンスで表現した義足のプロダンサー！！